

# 女性の皆様へ

## 経膈超音波(エコー)検査のご案内

経膈超音波(エコー)検査とは、膈から「プローブ」という器具を挿入して、子宮や卵巣の状態を調べる検査です。痛みはほとんどなく、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍などの診断に有効です。

平成 30 年度に偶数年齢となる方は、協会けんぽから子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診のみ)の助成が出ます。子宮頸がん検診を希望される方は、より精度の高い検診のために、経膈超音波検査の追加(3,620 円)をお勧めします。  
(経膈超音波検査のみの受診はできません。)

また、奇数年齢になる方は、協会けんぽからの助成が出ませんので、子宮がん検診を希望される場合は、経膈超音波検査とセットでの受診となります。

### 自己負担額

平成 30 年 4 月 2 日～ 平成 31 年 4 月 1 日の年齢	子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診)	経膈超音波 (エコー)検査
偶数年齢となる方 (協会けんぽ助成対象者)	1,020 円	3,620 円
奇数年齢となる方 (協会けんぽ助成対象外)	7,020 円	

※経膈超音波検査は、一度も性行為経験がない方には不向きな検査です。

※経膈超音波検査の追加を希望される方は、協会けんぽから送付されます

『生活習慣病予防健診申込書』の「備考」欄に「経膈エコー」とご記入ください。

※受診対象年齢、検査項目の詳細等については、協会けんぽから送付されます

『生活習慣病予防健診のご案内』を参照ください。